

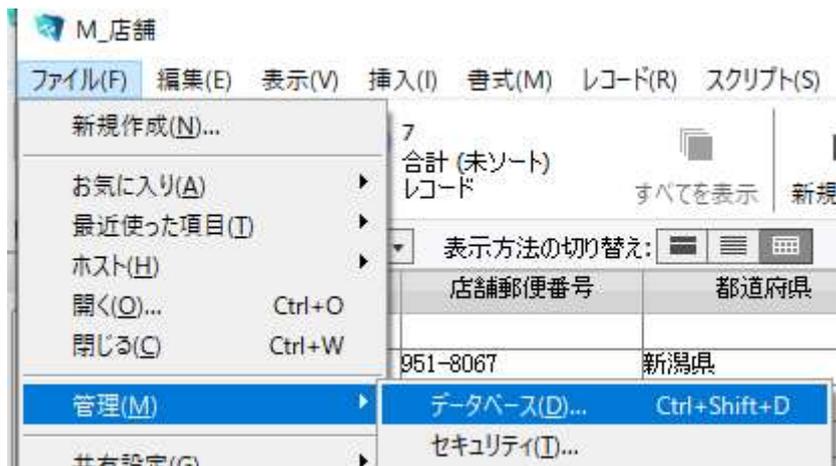
## 消費税軽減税率対応/店舗アップ♪版

※修正を行う前に、必ず該当ファイルのバックアップをお取りください。

1.

○ファイル名:M\_店舗

ファイル→管理→データベース



★新規フィールドを作成します。

テーブル「店舗マスタ」

「M\_店舗」のデータベースの管理



フィールド名: 軽減税率

タイプ: 数字→作成

フィールド名(E): 軽減税率

タイプ(Y): 数字

コメント(C):

作成(E) 変更(A) 複製(U) 削除(L) コピー(O)

同様の手順で、

フィールド名: 軽減税率判定

タイプ: テキスト→作成

フィールド名: 適格請求書発行事業者登録番号

タイプ: テキスト→作成

◆ ノックワ	テキスト
◆ 軽減税率	数字
◆ 軽減税率判定	テキスト
◆ 適格請求書発行事業者登録番号	テキスト

## 2.

○ファイル名:D\_販売商品情報

※こちらのファイルの修正は、計算式作成後に更新がかかり、時間がかかる可能性があります。  
お時間に余裕がある際に行ってください。更新中は店舗アップ♪が利用できません。

ファイル→管理→データベース

★新規フィールドを作成します。

フィールド名:消費税率

タイプ:数字→作成

※「消費税率」は作成済みの場合もございます。

以下のエラーが発生した場合には、OK を押し、次のフィールドの作成を行ってください。



フィールド名:標準税率

タイプ:数字→作成

フィールド名:軽減税率

タイプ:数字→作成

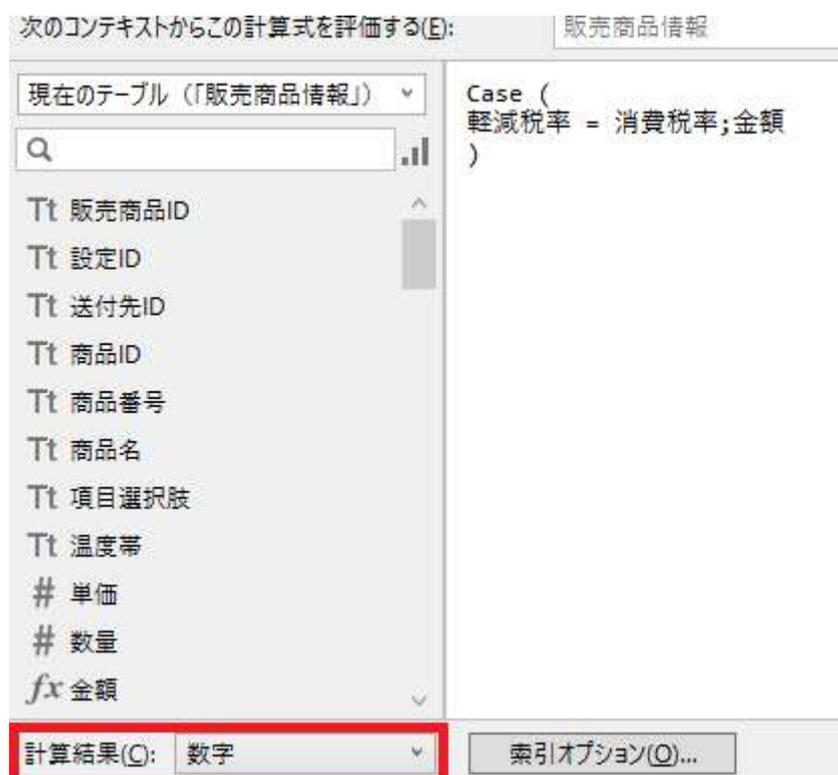
フィールド名:金額\_軽減税率

タイプ:計算→作成

計算式の指定画面が表示されますので、以下点線内の計算式を貼り付けてください。

-----  
Case (  
軽減税率 = 消費税率;金額  
)  
-----

計算結果:数字→OK



フィールド名:金額\_標準税率

タイプ:計算→作成

計算式の指定画面が表示されますので、以下点線内の計算式を貼り付けてください。

-----  
Case (  
標準税率 = 消費税率;金額  
)

-----  
計算結果:数字→OK

計算「金額\_標準税率」を指定

次のコンテキストからこの計算式を評価する(E): 販売商品情報

現在のテーブル (「販売商品情報」) ▾

Q

- Tt 販売商品ID
- Tt 設定ID
- Tt 送付先ID
- Tt 商品ID
- Tt 商品番号
- Tt 商品名
- Tt 項目選択肢
- Tt 温度帯
- # 単価
- # 数量
- fx 金額

Case (  
標準税率 = 消費税率;金額  
)

計算結果(C): 数字 ▾

索引オプション(O)...

◆ *****軽減税率対応*****	テキスト	
◆ 消費税率	数字	
◆ 標準税率	数字	
◆ 軽減税率	数字	
◆ 金額_軽減税率	計算	= Case ( 軽減税率 = 消費税率;金額)
◆ 金額_標準税率	計算	= Case ( 標準税率 = 消費税率;金額)

### 3.

○ファイル名:D\_注文情報

※こちらのファイルの修正は、計算式作成後に更新がかかり、時間がかかる可能性があります。  
お時間に余裕がある際に行ってください。更新中は店舗アップ♪が利用できません。

ファイル→管理→データベース

★新規フィールドを作成します。

フィールド名:消費税計算方法

タイプ:テキスト→作成

※既に使用されているというエラーが出た場合には、次のフィールドから作成してください。

フィールド名:標準税率

タイプ:数字→作成

フィールド名:軽減税率

タイプ:数字→作成

フィールド名:小計\_軽減税率

タイプ:数字→作成

フィールド名:小計\_標準税率

タイプ: 数字→作成

フィールド名: 合計\_標準税率

タイプ: 計算→作成

計算式の指定画面が表示されますので、以下点線内の計算式を貼り付けてください。

-----  
合計金額 - 小計\_軽減税率  
-----

計算結果: 数字→OK



フィールド名:請求\_軽減税率

タイプ:計算→作成

計算式の指定画面が表示されますので、以下点線内の計算式を貼り付けてください。

```
-----  
Let (  
[  
//税率別の合計金額  
#軽減合計 =  
小計_軽減税率;  
#標準合計 =  
合計_標準税率 ;  
  
//ポイント、クーポンなど値引き合計金額  
#値引額計 =  
合計金額 - 請求金額;  
  
//税率別に値引額を按分する。標準税率を優先する。標準税率に充てる値引額  
//「#値引額計」が「#標準合計」より多かったら、「#標準合計」 余りは軽減税率から引く  
  
#値引按分_標準 =  
Case (  
#値引額計 >= #標準合計;#標準合計;  
#値引額計  
);  
  
//税率別に値引額を按分する。軽減税率に充てる値引額  
#値引按分_軽減 =  
#値引額計 - #値引按分_標準  
  
];  
#軽減合計 - #値引按分_軽減  
)  
-----  
計算結果:数字→OK
```

計算「請求\_軽減税率」を指定

次のコンテキストからこの計算式を評価する(E):

現在のテーブル (「注文情報」)

検索欄:

- Tt 注文ID
- Tt 設定ID
- Tt 受注番号
- Tt 店舗ID
- Tt 受注区分1
- Tt 受注区分2
- 📅 注文日
- 🕒 注文時間
- Tt 顧客ID
- Tt メールアドレス
- Tt 利用端末
- Tt モバイルキャリア
- Tt コメント
- Tt 決済方法
- Tt カード種類
- Tt カード番号
- Tt カード有効期限
- Tt カード名義人
- Tt カード分割選択
- Tt カード分割備考
- Tt カードオーソリステータス
- Tt カード請求ステータス

```
Let (  
[  
//税率別の合計金額  
  
#軽減合計 =  
小計_軽減税率;  
  
#標準合計 =  
合計_標準税率 ;  
  
//ポイント、クーポンなど値引き合計金額  
  
#値引額計 =  
合計金額 - 請求金額;  
  
//税率別に値引額を按分する。標準税率を優先する。標準税率に充てる値引額  
//「#値引額計」が「#標準合計」より多かつたら、「#標準合計」 余りは軽減税率から引く  
  
#値引按分_標準 =  
Case (  
#値引額計 >= #標準合計;#標準合計;  
#値引額計  
);  
  
//税率別に値引額を按分する。軽減税率に充てる値引額  
  
#値引按分_軽減 =  
#値引額計 - #値引按分_標準  
  
];  
#軽減合計 - #値引按分_軽減  
)
```

計算結果(C):

フィールド名:請求\_標準税率

タイプ:計算→作成

計算式の指定画面が表示されますので、以下点線内の計算式を貼り付けてください。

```
-----  
Let (  
[  
//税率別の合計金額  
  
#軽減合計 =  
小計_軽減税率;  
  
#標準合計 =  
合計_標準税率 ;  
  
//ポイント、クーポンなど値引き合計金額  
  
#値引額計 =  
合計金額 - 請求金額;  
  
//税率別に値引額を按分する。標準税率を優先する。標準税率に充てる値引額  
//「#値引額計」が「#標準合計」より多かったら、「#標準合計」 余りは軽減税率から引く  
  
#値引按分_標準 =  
Case (  
#値引額計 >= #標準合計;#標準合計;  
#値引額計  
)  
];  
  
#標準合計 - #値引按分_標準  
  
)  
-----  
計算結果:数字→OK
```

計算「請求\_標準税率」を指定

次のコンテキストからこの計算式を評価する(E):

注文情報

現在のテーブル (「注文情報」)

Q

- Tt 注文ID
- Tt 設定ID
- Tt 受注番号
- Tt 店舗ID
- Tt 受注区分1
- Tt 受注区分2
- 📅 注文日
- 🕒 注文時間
- Tt 顧客ID
- Tt メールアドレス
- Tt 利用端末
- Tt モバイルキャリア
- Tt コメント
- Tt 決済方法
- Tt カード種類
- Tt カード番号
- Tt カード有効期限
- Tt カード名義人
- Tt カード分割選択
- Tt カード分割備考
- Tt カードオーソリスステータス
- Tt カード請求ステータス

Let (

[

//税率別の合計金額  
#軽減合計 =  
小計\_軽減税率;

#標準合計 =  
合計\_標準税率 ;

//ポイント、クーポンなど値引き合計金額

#値引額計 =  
合計金額 - 請求金額;

//税率別に値引額を按分する。標準税率を優先する。標準税率に充てる値引額  
//「#値引額計」が「#標準合計」より多ければ、「#標準合計」 余りは軽減税率から引く

#値引按分\_標準 =  
Case (  
#値引額計 >= #標準合計;#標準合計;  
#値引額計  
)  
];

#標準合計 - #値引按分\_標準

)|

計算結果(C): 数字

索引オプション(O)...

フィールド名:税額\_標準税率

タイプ:計算→作成

計算式の指定画面が表示されますので、以下点線内の計算式を貼り付けてください。

```
-----  
Let (  
[  
#端数計算 =  
Case (  
消費税計算方法 = "切り捨て";1;  
消費税計算方法 = "切り上げ";2;  
消費税計算方法 = "四捨五入";3  
);  
  
#税率 =  
標準税率 * 100;  
  
#計算 =  
請求_標準税率 * #税率 / (100 + #税率)  
  
];  
//[「1」切り捨て 「2」切り上げ 「3」四捨五入  
  
Case (  
#端数計算 = 2;Ceiling (#計算);  
#端数計算 = 3;Round (#計算;0);  
Int(#計算)  
)  
  
)  
-----  
計算結果:数字→OK
```

計算「税額\_標準税率」を指定

次のコンテキストからこの計算式を評価する(E): 注文情報

現在のテーブル (「注文情報」)

検索欄:

- Tt 注文ID
- Tt 設定ID
- Tt 受注番号
- Tt 店舗ID
- Tt 受注区分1
- Tt 受注区分2
- 📅 注文日
- 🕒 注文時間
- Tt 顧客ID
- Tt メールアドレス
- Tt 利用端末
- Tt モバイルキャリア
- Tt コメント
- Tt 決済方法
- Tt カード種類
- Tt カード番号
- Tt カード有効期限
- Tt カード名義人
- Tt カード分割選択
- Tt カード分割備考
- Tt カードオーソリステータス
- Tt カード請求ステータス

```
Let (  
  [  
    #端数計算 =  
    Case (  
      消費税計算方法 = "切り捨て";1;  
      消費税計算方法 = "切り上げ";2;  
      消費税計算方法 = "四捨五入";3  
    );  
    #税率 =  
    標準税率 * 100;  
    #計算 =  
    請求_標準税率 * #税率 / (100 + #税率)  
  ];  
  //「1」切り捨て 「2」切り上げ 「3」四捨五入  
  
  Case (  
    #端数計算 = 2;Ceiling (#計算);  
    #端数計算 = 3;Round (#計算;0);  
    Int(#計算)  
  )  
)
```

計算結果(C): 数字 索引オプション(O)...

繰り返し(R): 1 | [2] オブジェクトの参照フィールドが空の場合に評価しない(D)

フィールド名:税額\_軽減税率

タイプ:計算→作成

計算式の指定画面が表示されますので、以下点線内の計算式を貼り付けてください。

```
-----  
Let (  
[  
#端数計算 =  
Case (  
消費税計算方法 = "切り捨て";1;  
消費税計算方法 = "切り上げ";2;  
消費税計算方法 = "四捨五入";3  
);  
  
#税率 =  
軽減税率 * 100;  
  
#計算 =  
請求_軽減税率 * #税率 / (100 + #税率)  
  
];  
//[「1」切り捨て 「2」切り上げ 「3」四捨五入  
  
Case (  
#端数計算 = 2;Ceiling (#計算);  
#端数計算 = 3;Round (#計算;0);  
Int(#計算)  
)  
  
)  
-----  
計算結果:数字→OK
```

計算「税額\_軽減税率」を指定

次のコンテキストからこの計算式を評価する(E):

注文情報

現在のテーブル (「注文情報」)

Q

- Tt 注文ID
- Tt 設定ID
- Tt 受注番号
- Tt 店舗ID
- Tt 受注区分1
- Tt 受注区分2
- 📅 注文日
- 🕒 注文時間
- Tt 顧客ID
- Tt メールアドレス
- Tt 利用端末
- Tt モバイルキャリア
- Tt コメント
- Tt 決済方法
- Tt カード種類
- Tt カード番号
- Tt カード有効期限
- Tt カード名義人
- Tt カード分割選択
- Tt カード分割備考
- Tt カードオーソリスステータス
- Tt カード請求ステータス

```
Let (  
[  
#端数計算 =  
Case (  
消費税計算方法 = "切り捨て";1;  
消費税計算方法 = "切り上げ";2;  
消費税計算方法 = "四捨五入";3  
);  
  
#税率 =  
軽減税率 * 100;  
  
#計算 =  
請求_軽減税率 * #税率 / (100 + #税率)  
];  
//[1]切り捨て 「2」切り上げ 「3」四捨五入  
  
Case (  
#端数計算 = 2;Ceiling (#計算);  
#端数計算 = 3;Round (#計算,0);  
Int(#計算)  
)  
)|
```

計算結果(O): 数字

索引オプション(O)...

フィールド名:F\_納品書金額表示

タイプ:数字→作成

項目名	データ型
◆ *****軽減税率対応*****	テキスト
◆ 消費税計算方法	テキスト
◆ 標準税率	数字
◆ 軽減税率	数字
◆ 小計_軽減税率	数字
◆ 小計_標準税率	数字
◆ 合計_標準税率	計算
◆ 請求_軽減税率	計算
◆ 請求_標準税率	計算
◆ 税額_標準税率	計算
◆ 税額_軽減税率	計算
◆ F_納品書金額表示	数字

#### 4.

○ファイル名:M\_商品マスタ

ファイル→管理→データベース

テーブル 販売商品マスタ



★新規フィールドを作成します。

フィールド名:消費税率

タイプ:数字→作成

◆ 未引当フラグ	計算
◆ 引当済フラグ	計算
◆ 消費税率	数字
◆ 税抜単価	数字

手順は以上です。

メールにて記載したファイル、データのアップロードと、  
メール内のフォームから完了の旨ご連絡をお願いいたします。